

# 小倉薬剤師会 1月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。  
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう  
お願い申し上げます。

謹白

研修認定単位取得に薬剤師免許番号が必要となりました。研修カードをご持参ください。  
研修カードのない方は必ず薬剤師免許番号の写しをご持参ください。

記

【日時】 2020年 1月 28日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室  
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

## 『アプレピタントカプセル「NK」の特徴について』

日本化薬株式会社

- 【P S】
1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2
  2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-104～108、③-21・26
  3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション) : ①-14

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 入江 利行

## 『乳癌の薬物療法』

演者 独立行政法人国立病院機構 小倉医療センター

外科部長 山崎 徹 先生

### <講演会要旨>

乳癌は欧米では罹患率、死亡率は減少傾向にありますが、本邦では罹患率、死亡率は増加の一途をたどり、いまや日本人女性の11人に1人が乳癌にかかる時代であり、罹患者数は1999年から胃癌を抜いて女性の第1位を占めています。乳癌の治療は集学的治療によって行われます。乳房や、局所再発を防ぐには手術、放射線療法が大切です。しかし生存率を上げるには遠隔転移を防ぐための薬物療法が欠かせません。乳癌の薬物療法は化学療法、ホルモン療法、分子標的治療の大きく3種類に分けられます。どの薬物療法を行うかは乳癌のタイプと再発リスクを考慮して決められます。本講演においては乳癌の薬物療法について経口剤を中心に自らの経験を踏まえ、御紹介いたします。

※非会員の方は会費1000円を頂戴しております。

共催：(一社)小倉薬剤師会  
日本化薬株式会社